

第回宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画策定審議会 議事録	
日 時	令和 6 年 12 月 16 日（月）午後 2 時 00 分から
場 所	宗像市役所西館 2 階 202 会議室
委 員	池添昌幸 委員（会長）、佐藤太郎 委員、松本奈津美 委員、 目原凪斗 委員 【欠席】小部彰一郎 委員
出席者	宗像市アセットマネジメント推進課 中山課長 角脇係長（アセットマネジメント推進係） 小田主任主事（アセットマネジメント推進係）
内 容	1 開会 2 議事 「宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画」 ・前回審議会を受けての修正内容 ・第 5 章「計画の推進」 ・第 6 章「庁内推進体制及び進行管理」 ・資料編 3 その他連絡事項 4 閉会 （１）開会 — 会長より、委員 4 名の出席により、本審議会開催の定足数に達している旨の報告 — （２）議事 — 資料 1（以下、「本編」という。）、資料 2（以下、「資料編」という。）について、前回審議会での意見を踏まえ、事務局から説明 — 池添会長：本編 21 ページの更新・改修費用の内訳を明示したのは分かりやすくして良いが、そのうちの短期改修費用については、本編 60 ページに試算結果を明示しているのに対し、更新費用や長期改修費用については、本編 60 ページのような試算結果が明示されていない。また、旧計画では、用途分類別に更新・改修費用の表が載っていたが、計画案ではなくなっている。 事務局：記載ページや明示方法を検討する。

池添会長：本編 62 ページ以降の更新・改修計画において、「更新」と「改修」で上下段に分けて表示しているが、ここでの「改修」は長期改修費用のことか。

事務局：長期改修費用と短期改修費用の合計となっている。これらの内訳については、資料編において表示している。

池添会長：更新・改修費用は確定した金額か。

事務局：現在、試算の最終調整を行っており、次回、試算額の確定値をお知らせする。

佐藤委員：計画案における試算額に対し、公共施設等に対する投資限度額が少なく設定されているが、どちらかが優先されるのか。

事務局：同時期に見直しを行っており、本計画においては、公共施設等の更新・改修に必要な費用を示し、市財政課においても、今後の収支見込み等にあわせて財政安定化プラン等の見直しを行っている。本計画における試算額に対し投資可能額を超える部分については、基金等を活用し、両計画の目的の達成を図るため、どちらかが優先されるものではないと考える。

池添会長：本編 119 ページの 2-2 において、「民間事業者による包括管理委託（PPP）を導入」と記載されており、PPP が包括管理委託の略称のように見える。

池添会長：本編 121 ページの 1-1 において、これまでの体制では、各種データを公共施設等の所管部署で管理していたが、包括管理委託を導入したことにより、それらのデータを一元化したということが大きな変更点かと思うので、データをどこで、どのように管理しているか、今までとどう変わったかを記載すべき。また、本編 122 ページの図においても、包括管理委託の導入により少なからず変化があったはずなので、それを示す必要がある。

事務局：修正案を検討して提示する。

池添会長：資料編 39 ページの短期改修費用の合計金額が本編 60 ページの合計金額と一致していない。

事務局：資料編 39 ページの短期改修費用の合計金額では、本編 60 ページの合計欄の上にある「その他 200 m²以下の施設」が含まれていない。一見、合計金額が異なるように見えるので、表示方法を検討する。

佐藤委員：基本的には本編を主に見ることになると思うが、本編に資料編の該当ページを記載するなど、資料編を参照しやすい工夫がないと資料編を見ない可能性がある。

事務局：修正案を検討して提示する。

目原委員：資料編 97 ページ以降のアンケート調査の結果について、円グラフの合計が 100%ではないものがある。

事務局：端数処理の関係で合計が 100%にならないものがあるので、補足説明を追記する。

佐藤委員：市のアセットマネジメントの取組みに対する市民の認知度が上がってくると良いと思う。市民には馴染みがない分野だと思うが、包括管理委託での巡回点検など取組みは先進的なので、PR する機会があれば認知度も上がってくると思う。

池添会長：5 年前のアンケート調査の結果と比較すると、公共施設等に関する関心度は上がっているが、アセットマネジメントの取組みに対する認知度は下がっている。SNS 等を活用して、巡回点検の様子など施設の維持管理について発信できれば変化があるかもしれない。

事務局：アンケート調査の結果も参考に情報発信の方法を検討する。

佐藤委員：更新・改修を検討するうえで、施設の老朽化に伴う緊急度に対し、アンケート調査の結果にあるような市民ニーズは反映されているのか。

事務局：計画内でも述べているとおり安全性を最優先としているが、全ての施設を現在と同じように維持していくことは難しい。今回の見直しでは、公共施設の延床面積の半分を占める学校をポイントとして、学校に他の施設を複合化していくことで、延床面積の圧縮と市民ニーズの両方を達成できるよう検討していく。

（４）その他連絡事項

— 次回審議会開催日について案内 —

（５）閉会